

慶應義塾大学 SFC研究所

オープン・イノベーションをもたらす産学官共創のプラットフォーム

SFC研究所は、国内外の多様な知の相互作用によってイノベーションをもたらし、新しい未来を創造するための先導的なプラットフォームです。

慶應義塾大学湘南藤沢キャンパス（SFC）は、1990年の開設以来、「未来を創るキャンパス」を標榜して、従来の学問領域に拘泥することなく、「問題発見・解決」を中軸に据え、「知の再編」を嚮導してきました。

SFC研究所は1996年に発足。大学院政策・メディア研究科、健康マネジメント研究科、総合政策学部、環境情報学部、看護医療学部の付属研究所として、SFCにおける先端的な研究や社会・地域との連携を推進するプラットフォームの役割を担っています。2021年度には、40をこえる「ラボラトリ」（先端的な研究ミッションを持つ横断的な研究グループ）、30をこえる「SFC研究コンソーシアム」（SFC研究所と複数の外部機関によって展開される共同研究）を擁し、産官学からの約500名に及ぶ上席所員、所員などの訪問研究者とともに、社会を元気にするようなユニークな研究を展開しています。このように、SFC研究所は、産官学連携による先駆的な知の創造において、圧倒的な経験、実績があります。

また、研究成果をもとに起業したり何かの実践をするなど、さらに一歩踏み出すような人を物心両面から支援する制度も充実しています。例えば、慶應藤沢イノベーションビレッジ（SFC-IV）では、起業家やベンチャー

企業にオフィススペースを提供し、さまざまな事業創造のための支援、サービスを提供。その結果、営利、非営利を問わず、数多くの起業家を輩出し、まさに百花繚乱の様相です。

このように、SFCには、新しい知を生み出し、その成果を社会に還元するためのさまざまな仕組みや生態系が整っています。そして、イノベーションを巻き起こすために大切な、「面白い」を共有できる文化が醸成されているといえるでしょう。

福澤諭吉は、『学問のすゝめ』で、「学問の要は活用に在るのみ。活用なき学問は無学に等し」（十二編）と記しています。私たちは、躬行実践、自我作古の精神で、活用ある学問を推進します。そして、変わり続けるということを変えない志として、皆さまとともに明るい未来の創造に挑んでまいります。今後ともご理解、ご支援のほど、宜しくお願い申し上げます。



慶應義塾大学SFC研究所 所長
〈総合政策学部教授〉

飯盛 義徳

組織関連図

湘南藤沢キャンパス（SFC）

大学院

政策・メディア研究科
健康マネジメント研究科

学部

総合政策学部
環境情報学部
看護医療学部

SFC研究所

SFC研究所は、2研究科・3学部附属の研究所です。



慶應義塾大学

SFC研究所とは

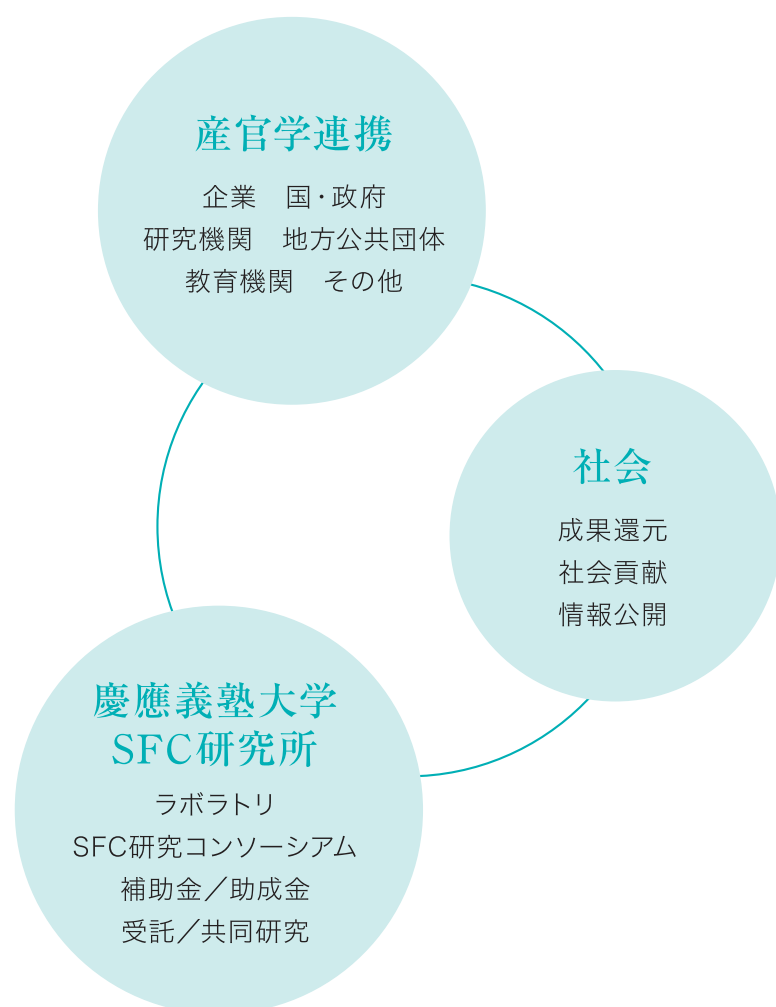
<https://www.kri.sfc.keio.ac.jp/>



SFC研究所は、慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科、健康マネジメント研究科、総合政策学部、環境情報学部、看護医療学部の附属研究所として、1996年7月の発足以来、21世紀の先端的研究をリードしてきました。

諸科学協調の立場にたって国内外のさまざまな関連活動と双方向の連携をとりながら先端的研究をおこない、社会の発展に寄与することをその目的としています。

研究体制



ラボラトリ



<https://www.kri.sfc.keio.ac.jp/ja/lab/>

ラボラトリは同様の研究ミッションを持つSFC研究所内の研究者によって横断的・融合的に構成される組織です。国内外の企業や研究所、国、地方公共団体、他大学などとの研究交流を促進することを目的としています。

※SFC研究所のウェブサイトでは「SDGs：持続可能な開発目標」を活用し、各ラボラトリが主として貢献する目標ごとに整理し紹介しています。

SFC研究コンソーシアム



<https://www.kri.sfc.keio.ac.jp/ja/consortium/>

大学が中心となって研究テーマを設定し、企業や政府などの外部の複数機関へ共同研究を呼びかけ、「相互利益」を前提に、領域を超えて、大規模な研究課題に取り組む仕組みです。これまでの共同研究に比べ、はるかにスケールが大きく、広範な学問領域にまたがる総合的な研究が可能です。

受託／共同研究

企業や国、地方公共団体などの外部機関と個々に契約し、委託を受けて、あるいは共同で、研究を行う研究形態です。研究内容は、委託者の要望に沿って決定され、個々のニーズに合った研究を行うことが可能です。

補助金／助成金

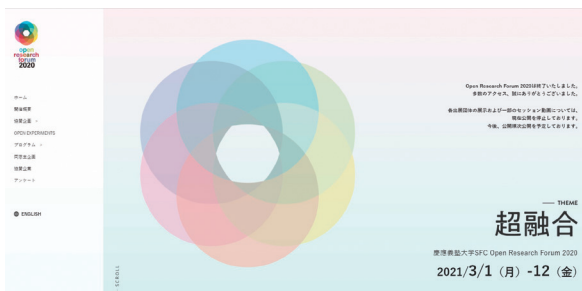
文部科学省などの公的機関が、高等教育の活性化や国際競争力のある大学づくりを目的として行う支援事業、または、民間団体が、特定分野の問題解決や認知度の向上のために行う支援事業にもとづいて行われる研究です。すでに複数の大型プロジェクトに採択されています。

産官学連携

SFC Open Research Forum (ORF)

SFCでは、その研究成果の社会への還元を自らが果たすべき重要な社会的責任の一端と考え、研究活動成果を広く社会に公開する場として、「SFC Open Research Forum (ORF)」を毎年開催しています。この研究発表イベントでは、SFC研究所で実施している様々な研究プロジェクトの現状と将来計画を、展示やセッションなどを通して、産業界・国・地方公共団体・学会等に広く紹介しています。

<https://orf.sfc.keio.ac.jp/>



ベンチャー・インキュベーション支援

慶應義塾は、中小企業基盤整備機構、神奈川県、藤沢市と共同で、新事業の創出、起業に取り組む方を支援する場として、インキュベーション施設を開設しました。SFCの持つIT、バイオテクノロジー、都市デザイン、社会制度設計等の知見を活用し、かつ慶應義塾大学と連携して起業を目指す方を対象としたオフィスです。



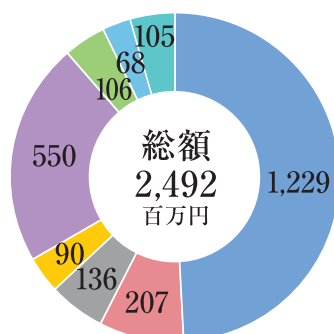
慶應藤沢イノベーションビレッジ

<https://www.smrj.go.jp/incubation/sfc-iv/>

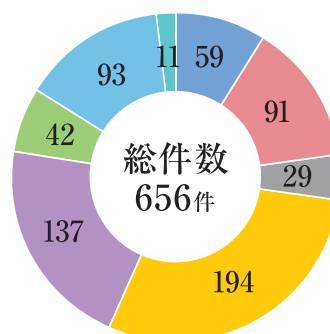


データから見るSFC研究所の研究活動（2020年度）

研究資金



研究プロジェクト件数



- | | |
|---------------------|-----------|
| ■ 国・政府および関連機関との契約等 | ■ 企業等との契約 |
| ■ 科研費 | ■ 指定寄付 |
| ■ 地方公共団体および関連機関との契約 | ■ 学内助成 |
| ■ コンソーシアムにおける契約 | ■ 補助金 |

慶應義塾大学SFC研究所

〒252-0882 神奈川県藤沢市遠藤5322

慶應義塾大学 湘南藤沢事務室
学術研究支援担当

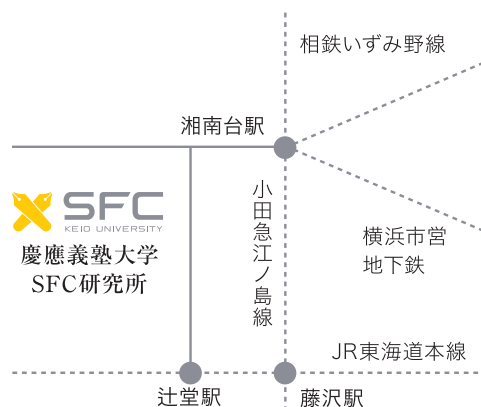
Tel: 0466-49-3436

Fax: 0466-49-3594

E-mail: info-kri@sfc.keio.ac.jp

小田急江ノ島線／相鉄いずみ野線／
横浜市営地下鉄ブルーライン：湘南台駅下車
神奈中バス「慶応大学行」約15分

JR東海道本線：辻堂駅下車
神奈中バス「慶応大学行」約21分



www.kri.sfc.keio.ac.jp



SFC研究所へのご支援をお考えの皆さま

SFC研究所は、産官学金民の多彩な訪問研究者とともにプロジェクトを編成し、国内外を問わず力を結集して、オープン・イノベーションを推進するプラットフォームです。真の未来を先導する「研究」を行うために、皆さまのご支援が不可欠です。

ご支援の方法には、以下の4種類があります。

- SFC研究コンソーシアムへの参加
- 受託／共同研究の実施
- ORFへの協賛
- 寄付の申込み

詳しくは、info-kri@sfc.keio.ac.jp までお問合せください。